

リトアニアの外交安全保障研究会

テ ー マ 2023年1月に、「自由主義国際秩序の将来研究会」を立ち上げ報告書を発表した。2024年度も引続き本研究会の活動を継続し、核兵器、台湾有事、中国とインド、中露朝、中国経済、台湾総統選の影響等の諸点につき研究することで研究を深化することとした。

その中で懸案の一つは、中国による侵略の危機感が強烈な台湾と、海を隔て米国と同盟する日本及びNATOに加盟するスウェーデンとの危機感の格差であり、それを是正せずには問題意識が共有できず分裂した提言となることが懸念された。そこでNATOに加盟するものの曾てロシア及びソ連に支配され地続きの隣国として強烈な危機感を抱くリトアニア（バルト3国で最大の人口約300万人、1人当たりGDP日本並みの\$3.8万）の外交・安全保障政策を研究することが提案され支持を集めた。そこで、新たに「自由主義国際秩序の将来研究会」の派生研究会として「リトアニア外交・安全保障研究会」を立ち上げることにした。

本研究会では、実際に、リトアニアを訪問し同国外務省並びに主要シンクタンクと面談を行うと共に、防衛施設や防衛訓練等を視察し、「自由主義国際秩序の将来研究会」の公開シンポジウムを開催する。

期 間 2024年4月1日～2025年3月31日

開催年月日 2024年9月8日～2024年9月14日
(リトアニア、及び、チェコ訪問)

リトアニアでの活動内容

9月8日 ビリニュス到着

9月9日 ビリニュス大学でのシンポジウム開催

セッション1：自由主義秩序における欧州、インド太平洋
の安全保障

セッション2：バルト海地方の安全保障

セッション3：NATO、欧州、アジアの力

セッション4：自由主義国際秩序における経済相互依存と
防衛

9月10日 Simonas Vigelas氏、ビリニュス大学専門家との会議

リトアニア外務省、Varvuolis大使との会議

9月11日 リトアニア防衛省との会議

リトアニアイノベーション・科学技術省との会議

メンバー

兼原 信克 (主査)

一般財団法人鹿島平和研究所 評議員

公益財団法人笹川平和財団 常務理事

元 内閣官房副長官補

元 国家安全保障局 次長

平泉 信之

一般財団法人鹿島平和研究所 会長

株式会社アバンアソシエイツ 顧問

石井 正文

りそな総合研究所 理事

国際問題研究所 プラットフォーム事業マネージングディレクター

川島 真

東京大学大学院 教授

中曽根平和研究所 研究本部長

四方 立夫

一般財団法人鹿島平和研究所 客員研究員

三井物産株式会社 社友

Dr. Niklas Swanström

Executive Director, Institute for Security and Development Policy,
Stockholm

Dr. Lars Vargö

Distinguished Fellow of Institute for Security and Development
Policy

Former Swedish Ambassador to Japan and South Korea

メンバー

Major General (ret.) Mats Engman

Head of the Stockholm Korea Center and Distinguished Military
Fellow at ISDP

Dr. Jagannath Panda

Head of the Stockholm Center for South Asian and Indo-Pacific
Affairs at ISDP